

平成 22 年度	<b>事業概要・評価シート</b>	事業番号	5
事務事業名称	別所温泉森林公園管理運営事業	担当部名	農林部
		担当課名	森林整備課
事業の種別	<input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度	担当者(内線)	北沢 1456

### 1 事業の位置付け

総合計画	第3編第1章第1節	市長マニフェストの記載	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
実施計画事業名		個別計画等の名称	上田市森林整備計画（H21-25年度）
予算事業名	森林公園管理事業費	会計-款-項-目	一般会計 款 6 項 2 目 1
主な予算内訳	委託料		

### 2 事業の概要

根拠法令等	上田市森林公園条例	実施 期間	始 終	S56
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託（栗栽培） <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理（施設の管理運営） <input type="checkbox"/> 補助交付金(交付先： ) <input type="checkbox"/> その他( )			
目的 (何のために)	自然とのふれあいや癒しを求める市民等に、森林と身近に接することができる場を提供し、市民等が森林に親しみ、自然や森林保護等へ関心を寄せていただくとともに、都市と農山村地域の交流、林業関係者等の研修の場に資する。			
対象 (誰・何を対象に)	市民等、林業関係者			
内容 (手段・手法等)	別所温泉森林公園は、総面積23haの中に宿泊施設を備えた森林総合センター、バンガロー、キャンプ場、テニスコート、栗園等があり、指定管理者制度により施設の管理運営を公園内に関連施設を有する信州上小森林組合に委託している。併せて、栗の栽培管理についても信州上小森林組合に委託している。			
必要性	市の面積の約7割は森林が占めており、自然とのふれあいや癒しを求める市民等に対して、豊かで貴重な自然を身近に体感できる場、健康増進やレクリエーションの場、環境教育の場等森林の持つ文化的な機能やサービスを提供する必要がある。			
事業の背景 (これまでの経緯等)	森林浴など自然とふれあう場等を提供するために、昭和54年度(1979年度)から市及び森林組合(当時:上田市森林組合)が国の補助事業(林業構造改善事業等)を活用して、子どもから高齢者まで多世代が利用可能な施設を公園内に順次整備してきた。市で整備した森林総合センターなどの諸施設は、建設当初から森林組合に管理運営を委託している。			
庁内分権の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁のみで実施 <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(本庁決裁有) <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(センター内決裁のみ) <input type="checkbox"/> その他( )			

### 3 事業費

(単位:千円)

	全体 事業費	H20年度 決算額	H21年度 決算額	H22年度 予算額	H23年度 計画
支出(直接経費) (A)	0	5,206	5,216	5,255	5,547
(内訳)					
委託料(指定管理料)		3,767	3,767	3,800	4,047
委託料(特産栗栽培委託)		1,439	1,449	1,455	1,500
その他( )					
収入	0	5,206	5,216	5,255	5,547
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)		792	597	634	639
一般財源		4,414	4,619	4,621	4,908
概算人件費 (B)	0	60	60	75	60
(人員)					
正規職員	-	0.01	0.01	0.01	0.01
嘱託職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (7,300千円/人・年)	-	60	60	75	60
嘱託職員 (2,500千円/人・年)	-	0	0	0	0
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	5,266	5,276	5,330	5,607

#### 4 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	別所温泉森林公園内に食堂やマツタケ資料館等を有する信州上小森林組合に管理運営を委託し、人件費等の施設維持管理コストの低減を図るとともに、施設のメンテナンスを行いながら有効利用を図ることとしている。 市民等へは、市や観光関連のホームページ掲載やパンフレット作成のほか、信州上小森林組合が松茸や栗の収穫時期に新聞への折込広告を出してPRに努めている。			
指標名	単位	H20年度目標	H21年度目標	H22年度目標
市の公園施設の利用者数	人	1,400	1,400	1,400
指標名	単位	実績	実績	実績
市の公園施設の利用者数 実績欄の( )は、市の施設の利用者数に森林組合の施設の利用者数を加えた数	人	1,382 (6,119)	1,035 (4,437)	1,002 (5,559)

#### 5 活動実績による事業の効果

平成20年度	利用者数 1,382人 森林総合センター 156人、 テニスコート 29人、	バンガロー 96人、 栗園 835人	テント 266人、
平成21年度	利用者数 1,035人 森林総合センター 184人、 テニスコート 29人、	バンガロー 48人、 栗園 591人	テント 183人、

#### 6 現状の分析

必要性	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 検討
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 小さい	<input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 調査未実施
公平性	市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 薄れている	<input type="checkbox"/> 民間等に同種有り
	受益者	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民	<input type="checkbox"/> 多数の特定市民	<input type="checkbox"/> 少数の特定市民	<input type="checkbox"/> 地域性有り
有効性	受益者負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 公平	<input type="checkbox"/> 検討
	目的の達成状況	<input type="checkbox"/> 計画以上に達成	<input type="checkbox"/> 計画どおり達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成
効率性	受益者満足度	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 未調査
	他自治体等との比較	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 低い	<input checked="" type="checkbox"/> 未調査

#### 7 その他

市における類似事業(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	市民の森わしば山荘管理運営事業(宿泊施設)
事業を廃止したときの影響	別所温泉森林公園には、宿泊施設、テニスコート、栗園等があり、廃止した場合、同様な施設は千曲川右岸の市民の森に限定され、市民や別所温泉等を訪れた観光客が森林等に親しむ機会が減少する。	
課題と今後の方向性	施設が老朽化し、利用者が減少傾向にあることから、利用増進に向けて事業の見直しを図り、歳入の確保に努めるほか、信州上小森林組合が公園内にある施設を活用して食堂等の自主事業を行なっていることから施設の効率的な管理手法について検討を行なう。	
特記事項 (留意事項等)	別所温泉森林公園内には、食堂やマツタケ資料館など信州上小森林組合が整備した施設がある。 利用者の要望により、平成22年度事業で公園内の公衆用トイレの改修予定がある。 平成23年度から平成27年度までの5年間、信州上小森林組合へ指定管理委託予定。	

8 第1次評価(担当課による自己評価：今後の方向性)

<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 歳入確保
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 業務委託化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
第1次評価の概要	<p>市民等に身近な自然と触れ合える機会を創出する場を提供する必要がある、引続きサービスを提供する中で、利用増進に向けた事業内容の見直しを図り、歳入の確保に努めることとする。</p> <p>また、信州上小森林組合が公園内にある施設を活用して食堂等の自主事業を行なっていることから、施設の効率的な管理手法について検討を行なう。</p>		

9 第2次評価(行政改革推進室：今後の方向性)

<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> 歳入確保
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 業務委託化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/> 補助金の見直し
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
仕分けの視点	利用者の増加対策		
実施目標年度	平成 24 年度	方向性	利用者の増加対策の検討・実施
第2次評価の概要	<p>栗園については比較的用户が多く活用されているが、宿泊施設等については、利用が低迷しており、有効利用されていない実体である。</p> <p>施設そのものが広く市民に知られているのか疑問もあるが、森林セラピーなど健康面での森林の効能が注目されているなかで、地元の温泉施設との連携など、利用者の増加対策について、指定管理者とともに検討し、実施する必要がある。検討に際しては、各年度毎の利用者数、利用料収入、支出を含め、利用者の増加に向けた計画と目標を定め取り組む必要がある。</p> <p>また、3年程度の取組実績を踏まえ、森林公園の民営化も含めた施設のあり方について検討する必要がある。</p>		